

戦後80年 企画展

兵士たちの目線

南方で描かれた記憶



軍事郵便葉書に描かれた自画像 ©石津博典

2025.10/15(水) ▶ 2026.1/18(日)

前期 10/15(水) ▶ 11/24(月・休)

後期 11/26(水) ▶ 1/18(日)

【開催時間】 9:30～17:30(入館は17:00まで)

【休館日】 毎週月曜日(祝休日の場合はその翌日)、12月28日(日)～1月5日(月)

入館無料

●●●
者の
還
た
記憶
の
ジ
ム

MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINES
IN SIBERIA AND POSTWAR REPATRIATES
平和祈念展示資料館(総務省委託)

兵士たちの目線

先の大戦時、多くの日本の将兵たちが南方の戦地へ派遣されました。その地で彼らが見た風景やそこに暮らす人々、風俗、戦友の姿などを描き残した絵画を展示します。緊迫感のある戦闘の場面ではなく、なぜ彼らはこの絵を描いたのでしょ。また、絵を描くことはどのような意味を持っていたのでしょうか。

本企画展は、二松学舎大学文学部歴史文化学科 林英一ゼミナールのご協力のもと、描き残した人のどんな思いが読み取れるのかなどを次世代を担う若者の視点で考え、選んだ絵画も展示します。絵画は単なる「過去の記録」ではなく、いまを生きる私たちへ、戦争や平和とは何かを問いかけているようです。絵という表現を通して、戦地に赴いた一人ひとりの人間に寄り添います。

イベント

● ギャラリートーク

10月19日(日)、11月16日(日)、12月21日(日)、1月18日(日)
各日 13:00～(約30分)

● 二松学舎大学文学部歴史文化学科の

林 英一准教授とゼミ生、学芸員によるトークイベント

10月25日(土) 14:00～(約60分)

およそ80年前に戦地で描かれた作品について、次世代を担う若者たちとともに語り合います。

同時開催

● 特別展示

「映画『ペリリュー
ー楽園のゲルニカー』を知る」

2025年10月15日(水)～
2026年1月18日(日)

生きて一緒に帰りたい…

武田一義(白泉社)原作のマンガ『ペリリューー楽園のゲルニカー』が映画化され、12月5日(金)より全国公開となります。太平洋戦争における激戦地の一つ、パラオ南西部のペリリュー島での戦いを描いた本作。若者たちが戦地で過ごした史実に基づく物語をもっと知ってもらうため、作品の魅力を紹介するパネルや原作マンガの原画パネルに加え、当時を思わせる現地で撮影した写真などを館内で特別展示します。



『ペリリューー楽園のゲルニカー』
2025年12月5日(金)全国公開
配給:東映
©武田一義・白泉社/
2025「ペリリューー楽園のゲルニカー」
製作委員会
監督:久慈悟郎
声の出演:板垣李光人 中村倫也 他

関連企画

● 戦後80年

帰還者たちの記憶ミュージアム×二松学舎大学 合同展
私たちが伝える戦争～南方へ従軍した兵士たちの記憶

11月2日(日)11:00-17:00、11月3日(月・祝)10:00-15:00

二松学舎大学 九段キャンパス2号館2階 特設会場
(東京都千代田区三番町6-16)

二松学舎大学でも、南方に赴いた兵士に関する展示を行います。



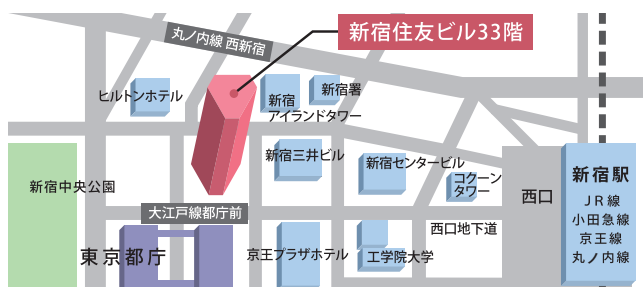
「医務室からの椰子林の風景」©満川元行



「対空射撃 石田一等兵」©石津博典



「ナイボルの海浜」©野村克己



都営大江戸線「都庁前」駅 A6出口より徒歩 約1分
東京メトロ丸ノ内線「西新宿」駅より徒歩 約5分
JR線、小田急線、京王線「新宿」駅西口より徒歩 約10分
東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル33階
Tel. 03-5323-8709
<https://www.heiwakinen.go.jp>



@heiwakinen



帰還者の
記憶
ミュージアム

MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES
IN SIBERIA AND POSTWAR REPATRIATES
平和記念展示資料館(総務省委託)